# 第30回 (平成27年度) 商業経済検定試験問題 〔ビジネス経済A〕

#### 解答上の注意

- 1. この問題のページは2から15までです。
- 2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
- 3. 問題用紙の表紙に受験番号を記入しなさい。
- 4. 文字または数字で記入するもの以外はすべて 記号で答えなさい。
- 5. 計算用具などの持ち込みはできません。
- 6. 制限時間は60分です。
- ※ 試験終了後、問題用紙も回収します。

公益財団法人 全国商業高等学校協会

2015年に、1,700を超える地方公共団体が、「プレミアム付き商品券(以下、商品券)」を販売し、全国各地で話題を集めた。

この商品券は、政府が経済対策と地方創生を目的に、2014年度補正予算に盛り込んだ地方公共団体向けの「地域住民生活等緊急支援のための交付金」の使い道として、各地方公共団体が計画した事業によるものである。そのほとんどが、額面価額より安い価額で購入でき、購入した県や市町村の登録店舗でのみ利用できる特徴がある。

A市では、一冊1万2千円分の商品券が1万円で購入できる商品券を、15億円分(額面総額18億円)発行することとした。(a)財をそれぞれの経済主体にどのように配分(販売)するかを決める社会的なしくみがある。A市は販売方法について検討を重ね、一次販売として往復はがきで応募を受け付け、(b)抽選による販売を行ったが、市民への周知不足もありすべての商品券を販売することができなかった。その後A市は、再度市民に周知したことにより、先着順の二次販売では大人気となり、4日足らずで完売することができた。

このような商品券はA市以外でも販売されたが、その販売方法はさまざまであり、早々と完売したところや売れ残ったところもあった。(c)<u>希少な財を無駄がなく効率的に配分</u>し、活用していくことは重要である。しかし、購入者のなかには転売によって利益をあげようとする者もいるといわれ、対策に頭を悩ませた地方公共団体も多かったという。

地域の商店街やスーパーなどで購入金額を上回る買い物ができるこの商品券によって、消費者の購買意欲を向上させ、地域経済や商店街などの活性化が図られることを期待したい。

#### 問 1. 下線部(a)を何というか、9文字で正しい用語を記入しなさい。

- 問2. 本文の主旨から、下線部(b)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。
  - ア. 買い手と売り手の希望が一致するところで配分を実行するしくみ
  - イ. 当選した買い手に配分を実行するしくみ
  - ウ. あらかじめ決められた買い手に配分を実行するしくみ

#### 問3. 下線部(c)の例として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 最も高い価値を見出している人が財を得ることができるので、オークションによる配分が社 会全体でみたときには効率的である。
- イ. 社会慣習で決まった人が主に財を得ることができるので、社会慣習による配分が社会全体で みたときには効率的である。
- ウ. 一番早く意思表示をした人が財を得ることができるので、早い者勝ちによる配分が社会全体 でみたときには効率的である。

現代市場経済の特徴として、サービス化・情報化・国際化という三つの変化があげられる。これらが最も明確にあらわれている市場が、現代の金融市場であるといえる。

金融市場の主要な構成員である金融機関として、銀行、証券会社、保険会社があげられる。なかでも、銀行が(a)異時点間の資源配分機能の中心的役割を担っている。次に、証券会社は、証券が新たに発行・販売される発行市場や、発行されている証券が売買される流通市場において、仲介者としての役割を担っている。そして、(b)保険会社は、保険を販売することでリスク配分機能を担っている。リスクとは、まだ起きていないが危険に遭う可能性や、困難に遭う可能性、損をする可能性があることをいう。

また、銀行や証券会社などでは(c)株式や債券、為替といった従来の金融商品から派生した金融商品が金融市場で取引されている。主なものに、先物取引、先渡取引、交換(スワップ)取引、選択権(オプション)取引がある。先物取引は、将来の価格変動に備えてあらかじめ取引価格や数量を約束して契約することによって、価格変動によるリスクを少なくするものである。このように、保険会社以外の金融機関でもリスク配分機能をもった金融商品が取引されている。わが国の金融システムは(d)金融ビッグバンにより大きく変化した。それまでは銀行、証券会社、保険会社がそれぞれ担ってきた機能の役割分担が徐々に変化していったのである。

金融機関どうしの競争が激化している状況のなかで、今後も新たな金融商品が生み出され、ますますサービス化・情報化・国際化が進展していくであろう。

#### 問1. 下線部(a)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア、収入と支出のタイミングのずれを調整し、有効に資金を使えるようにする機能のこと
- イ. 銀行の人材を、従来の業務以外の証券業務や保険業務などに配置転換を行う機能のこと
- ウ. 家計・企業・政府の三つの経済主体に、資金を貸し出して景気の調整を行う機能のこと

#### 問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 保険料を受け取るため、保険加入者の経済的損失というリスクを増加させる。
- イ. 保険料と同額の保険金を支払うので、保険加入者の経済的損失というリスクは変化しない。
- ウ. 保険料と引き換えに. 保険加入者の経済的損失というリスクを低減させる。

#### 問3. 下線部(c)を何というか、カタカナ6文字で正しい用語を記入しなさい。

#### 問4. 下線部(d)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア、1975年から日本銀行がマネタリーベースを減少させる政策に転換したこと
- イ. 1990年代なかばから実施された大規模な金融制度改革のこと
- ウ. 1997年にタイを中心にはじまったアジア各国の通貨下落によって起こった金融危機のこと

商品の価格は、私たちが買い物をする際に購入する決め手となる大きな要素である。価格が変化 すれば、需要量も変化することになるので、企業にとっても大事な要素となる。それでは、価格と 需要の変化についてみてみよう。

コメ1袋(個)とメロン1個の価格がともに800円のとき、それぞれの需要量が800万個だとする。 価格がともに600円に値下がりした場合、(a)コメの需要量は900万個に、メロンは1,200万個にそれ ぞれ増加した。これに対して、価格が値上がりしたときにも需要量の減る割合は同じような数値に なった。これによって、コメとメロンの(b)需要の価格弾力性に違いがあることがわかる。違いが生 まれた原因の一つとして、コメに代わるようなものがあまりなく、メロンに代わるようなものが多 くあることがあげられる。

一方、所得が増え、それ以外の条件が変わらない場合、通常需要量は増加する。この割合のことを(c)需要の所得弾力性という。しかし、財のなかには(d)所得が増えると需要が減るものもある。

このように、需要と価格は条件が変われば、その増減のしかたもさまざまに変化するのである。

## 問 1. 本文の主旨から、下線部(a)の状況から推測できることとして、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. コメよりメロンの方が需要の価格弾力性が低いので、売り上げを増加させるには、メロンは 比較的小幅な値下げですむことが推測できる。
- イ. メロンよりコメの方が需要の価格弾力性が高いので、売り上げを増加させるには、コメは比較的小幅な値下げですむことが推測できる。
- ウ. コメよりメロンの方が需要の価格弾力性が高いので、売り上げを増加させるには、メロンは 比較的小幅な値下げですむことが推測できる。

#### 問2. 下線部(b)の例として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 代替財が少ない財は需要の価格弾力性が低く、代替財が多い財は高くなる。
- イ. 差別化しづらい財は需要の価格弾力性が低く、差別化しやすい財は高くなる。
- ウ. ぜいたく品は需要の価格弾力性が低く. 必需品は高くなる。

#### 問3. 下線部(c)の内容として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 価格を何%上げたら、需要量が何%増えるのかという割合
- イ. 需要量が何%増えたら, 所得が何%増えるのかという割合
- ウ. 所得を何%上げたら、需要量が何%増えるのかという割合

### 問4. 本文の主旨から、下線部(d)のような財を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びな さい。

ア. 正常財 イ. 劣等財 ウ. 補完財

モノを生産すると、当然費用がかかる。しかし、生産量が少ないと売上高と利潤も少ない。それでは、和菓子の製造業者を例にして収入と費用、利潤の関係についてみてみる。

生産にかかる費用のなかで最後に追加した1個の生産物を生産するときにかかる「費用の増加分」を限界費用という。(a)通常どの財でも、生産量が増えると限界費用は増加する。それでは、和菓子の市場価格が100円であるとして、下図を使って最適生産について考えてみよう。

#### 和菓子の生産量と利潤の関係

(単位:円)

個数	費用	固定費	変動費	限界費用	収入	限界収入	限界収入- 限界費用	全体の利潤
1,000個	85,000	10,000	75,000	80	100,000	100	20	15,000
1,300個	100,000	10,000	90,000	100	130,000	100	0	30,000
1,500個	137,000	10,000	127,000	130	150,000	100	-30	13,000

まず、和菓子を製造した分だけ売れると仮定する。このとき、1,000個目を生産すると利潤が20円得られる。1,001個目を生産しても全体の利潤は追加される。そして、1,300個目を生産すると追加の利潤が出なくなる。また、1,500個目を生産すると利潤を30円余計に失うことになる。なぜなら、(b)生産量を増やすと、限界収入は一定であるのに対し限界費用は増えていくからである。このことから、(c)この和菓子の最適生産量は決まってくるのである。もし、和菓子の(d)市場価格が変わるとすると最適生産量も変わってくる。

このように、企業は利潤が最大になるように生産量を決定しているのである。

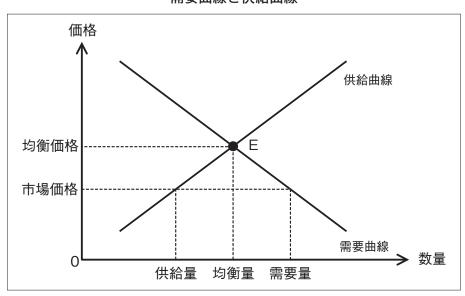
問1. 下線部(a)の法則を何というか,漢字を補って正しい用語を完成させなさい。

## 問2. 本文の主旨から、下線部(b)の主な要因として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 生産量を増やすと、和菓子の原材料を割高な価格で購入しなければならず、費用が大幅に増加するから。
- イ. 生産量を増やすと、和菓子を製造する従業員を追加で雇わなければならず、費用が大幅に増加するから。
- ウ. 生産量を増やすと、稼働中の機械の減価償却費を多く計上しなければならず、費用が大幅に 増加するから。
- 問3. 本文の主旨から、下線部(c)の生産量として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。
  - ア. 1,000個 イ. 1,300個 ウ. 1,500個
- 問4. 下線部(d)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。
  - ア. 市場価格が上昇すると、最適生産量は増加する。
  - イ. 市場価格が上昇すると、最適生産量は減少する。
  - ウ. 市場価格が上昇しても、最適生産量は一定である。

市場には需要と供給があり、それぞれの価格と数量で需要曲線と供給曲線を導き出すことができる。下図を使って価格決定のしくみをみてみよう。

まず、下図のE点は、需要曲線と供給曲線が交わったところであり、均衡点という。このときの価格を均衡価格といい、数量を均衡量という。(a)下図では市場価格と均衡価格にずれが生じていて、需要量と供給量に差が発生している状態である。このままの状態では品不足や売り切れの恐れが高くなる。需要者のなかには少し高くても買いたいと考える人が存在し、(b)供給者も価格を調整することになる。その結果、(c)供給者に有利な市場は長く続かないことになる。



需要曲線と供給曲線

- 問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。
  - ア. 超過需要 イ. 超過供給 ウ. 超過利潤
- 問2. 本文の主旨から、下線部(b)の結果として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。
  - ア. 供給者は、このままでは利益をあげることが難しいと考え、この商品の生産から徐々に撤退 する。
  - イ. 供給者は、できるだけ多くの利潤を獲得しようと、生産量は変えずに均衡価格を超えた価格 設定をする。
  - ウ. 供給者は、少し高くても売れるならば多く生産しようと考え、商品の価格もそれに応じて少しずつ上昇する。
- 問3. 本文の主旨から、下線部(c)を何というか、3文字を補って正しい用語を完成させなさい。

市場の供給者が1社または数社しかなかったり、競合する他社にはない差別化がされていたりして、供給者どうしの競争があまりない場合を不完全競争という。このような場合にはどのようなことが起こるのか考えてみよう。

不完全競争の最も極端な例は、市場に生産者が1社しかない独占という状態である。こういう企業を独占企業というが、(a)独占企業は競争相手がいないため完全な価格支配力をもっており、自由に価格を設定する者という存在になる。独占企業が価格を設定する際には、ただ単に高く設定する訳ではない。なぜなら、価格が高すぎると需要が減少してしまうからである。そこで、価格の調整を行い、(b)最終的に最大利潤を達成する取引点である独占均衡にいきつくのである。ただし、世界の多くの国々では(c)市場がこのような状態にならないように法律が制定されている。このため、どの産業においても一つの企業で市場占有率が100%を占めていることはほとんどない。

次に、市場に生産者が少数しかない寡占という状態がある。寡占は、独占と違い競争相手がいることから市場価格は独占価格より高くなることはない。そして、寡占市場は、寡占企業が協力的であるか非協力的かによって、競争の状態が変わってくる。また、(d)消費者から高い評価を受けている個人経営の高級レストランのように、自店の商品に価格支配力をもっているが、競争相手も存在するという状況もあげられる。

不完全競争の状況において,市場で競争が制限された場合,その結果は需要者と供給者のどちらにとっても望まれる状況にならないことが多いのである。

- 問1. 下線部(a)を何というか、カタカナで正しい用語を記入しなさい。
- 問2. 下線部(b)の結果として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。
  - ア. 独占価格は競争価格より高くなり、独占取引量は競争均衡量より少なくなる。
  - イ. 独占価格は競争価格より低くなり、独占取引量は競争均衡量より多くなる。
  - ウ. 独占価格は競争価格とほぼ変わらず、独占取引量は競争均衡量より少なくなる。
- 問3. 本文の主旨から、下線部(c)に記されたわが国の法律として、次のなかから適切なものを一つ 選びなさい。
  - ア. 特定商取引法 イ. 割賦販売法 ウ. 独占禁止法
- 問4. 下線部(d)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。
  - ア. 自由競争 イ. 過当競争 ウ. 独占的競争

企業は、さまざまな場面に対応して適切な意思決定をしていく。そのような状況のなかで、消費 者や企業がどのように行動するのかを分析する考え方にゲーム理論がある。

ゲーム理論における概念の一つに「囚人のジレンマ」がある。二人の容疑者が別室で尋問され、一方が自白し、もう一方が黙秘の場合、自白すると懲役 1 年、黙秘なら懲役 1 5年となり、二人とも黙秘の場合は懲役 2 年、二人とも自白の場合は懲役 1 0年となるとする。この条件の下で(a) 二人が最良の結果を得るためには二人とも黙秘することだが、結果的にどちらも自白してしまう。

それでは、ゲーム理論を使って考えてみる。(b)携帯電話通信業者のA社、B社があるとし、双方とも同じサービスを提供し、仮に他社が参入できない市場とする。需要が増える春に、他社より多くの顧客を獲得するため、双方の企業がともに値下げを検討しており、その情報をお互いが知っている。需要予測を基に利益額の予測を行った結果、下図のようになった。なお、お互い値下げをするかどうかはわからない。この場合、

### (c)<u>ゲーム理論によるとA社が得られ</u> る利益の結果は明白である。

ゲーム理論は、企業間の競争を説明するのに便利であることから、企業経営やマーケティング、会計などにも応用範囲が広がっている。

#### 値下げとすえおきの組み合わせと結果

(単位:億円)

		B社					
		値下げ	すえおき				
A社	値下げ	(400, 400)	(700, 100)				
A AL	すえおき	(100, 700)	(500, 500)				

( )のなかの左はA社の利益,右はB社の利益である。

#### 問 1. 下線部(a)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 相手の利益を一番に考えて行動すると、必ずしも全体として最良な選択に結び付くわけでは ないことを示している。
- イ. 双方にとっての利益が最良になるように考えることが、必ずしも全体として最良な選択に結び付くわけではないことを示している。
- ウ. 個人が自らの利益のみを追求している限り、必ずしも全体として最良な選択に結び付くわけではないことを示している。

#### 問2.下線部(b)のような市場の形態として,次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア.独占 イ.複占 ウ. 完全競争

#### 問3. 下線部(c)のA社が得られる利益の増減額として,次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 二社ともすえおいた場合と比較して、利益が200億円増えることになる。
- イ. 二社ともすえおいた場合と比較して、利益が100億円減ることになる。
- ウ. 二社ともすえおいた場合と比較して、利益が400億円減ることになる。

経済活動を表す量には2種類ある。一つは一定期間にどれだけの経済活動が行われたかを示すものであり、フロー変数と呼ばれる。もう一つはある一時点における存在量を示すものであり、ストック変数と呼ばれる。下図をみてみよう。

下図は、鋳物の製造、販売を行うA社における急須の製造数、販売数、年末時点の在庫数の記録である。(a)この記録をフローの面でとらえると、三つの変数が存在することがわかる。一方、ストック変数はある時点における存在量を示しているので、フロー変数と適切に組み合わせることで、(b)2015年末における急須の在庫数を求めることができる。

フロー変数とストック変数に関して重要なのは、測定に際して差し引く要素の有無を把握することである。例えば、機械設備やオフィスビルなどの存在量を示している資本ストックはストック変数である。そうした(c)資本ストックは日々の生産活動に利用されるなかで、壊れたり旧式になったりするなどして、価値の一部が失われていく。その部分は、当然測定量から差し引いて考える必要がある。ちなみに、(d)資本ストックに、住宅、自家用車のような耐久消費財、土地、対外純資産などを加えたものが、国民が保有する資産総額となる。

二つの変数を意識することで、さまざまな経済指標がどのような性質をもっているのかを理解することができる。知識をいかに現実に活用できるかが重要である。

A社における急須の製造、販売、在庫に関する記録

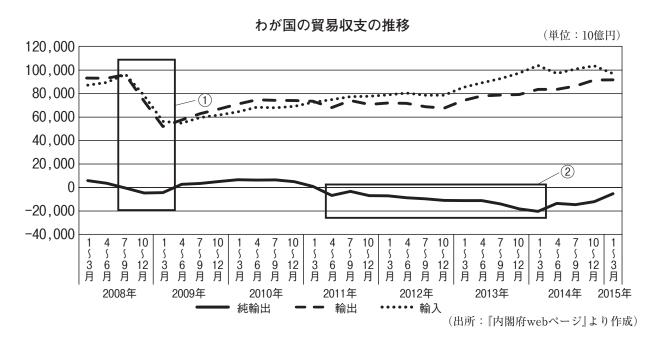
(単位:個(口))

年	製造数	販売数	年末時点の在庫数	
2012年	800	500	400	
2013年	700	500	(各自計算)	
2014年	600	700	(各自計算)	
2015年	800	1,000		

- 問1. 下線部(a)における変数の組み合わせとして、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。
  - ア. 製造数・販売数・年末時点の在庫数
  - イ. 製造数・販売数・在庫数の増減
  - ウ. 製造数・販売累積数・年末時点の在庫数
- 問2. 下線部(b)および図中の に当てはまる値として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。
  - ア. 300 イ. 500 ウ. 600
- 問3. 下線部(c)を何というか、漢字6文字で正しい用語を記入しなさい。
- 問4. 下線部(d)に記されている資産総額を何というか,次のなかから正しいものを一つ選びなさい。
  - ア. 国民所得 イ. 国富 ウ. 財産所得

わが国は、外国との貿易を通じ発展を遂げてきた。貿易について関心をもつことはわが国の実態を知るうえで重要である。下図は2008年からの四半期ごとのわが国の貿易収支の推移を表している。(a)下図①より、大きな変化を示しているのが2008年の第3四半期から2009年の第1四半期にかけての輸出と輸入の減少である。このような大きな減少を示していることは注目に値する。この減少から、断続的に輸出、輸入ともに回復してきているのが現状である。(b)一般に輸出と輸入の増減に関しては為替レートの変化の影響を受ける。そのため、政府や中央銀行はその動向に注意を払っている。(c)下図②より、わが国の純輸出は、為替レート要因を除いたわが国の構造的な要因もあり、2011年第2四半期から2014年第1四半期まで低迷が続いている。

統計データは、単に値を知るだけではなくて、その背景にどのようなことがあったかを分析する ことが大事である。統計データから背景を読み解く力を身に付けたいものである。



問1. 下線部(a)の一因となった出来事として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. ポンド危機 イ. リーマン・ショック ウ. ロシア財政危機

#### 問2. 下線部(b)のわが国における一例として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 円高ドル安:輸出に不利 輸入に有利 イ. 円高ドル安:輸出に有利 輸入に有利

ウ. 円安ドル高:輸出に不利 輸入に有利 エ. 円安ドル高:輸出に不利 輸入に不利

#### 問3. 下線部(c)の背景として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 東日本大震災の影響で電力需給がひっ迫し、海外から高値で燃料を輸入することになったにもかかわらず、非価格競争力の低下や海外現地生産により輸出の伸びが鈍かったため。
- イ. アメリカのシェールガス革命により、安値で燃料を輸入することになったにもかかわらず、 労働力不足により生産活動に支障をきたし、輸出の伸びが鈍かったため。
- ウ. 中東での紛争の終結により、安値で燃料を輸入することになったにもかかわらず、デフレ不 況により輸出企業数が激減し、輸出の伸びが鈍かったため。

政府は一定の期間ごとにさまざまな経済統計を発表している。経済統計をみるにあたり、名目値と実質値の違いは意識しておく必要がある。GDP(国内総生産)を例にあげると、名目GDPは生産物の付加価値額を合計すればよいが、実質GDPはそれに加え、基準年を定めておき、物価の影響を除かなければならない。

下図の例を参考に考える。20X1年を基準年と定めた場合,20X2年の名目 G D P,(a) 20X2年の実質 G D P は下図のようになる。名目値は,当該年の価格を用いればよいが,実質値はそうではないことに注意が必要である。次に,(b) 経済成長率を求める。経済成長率は,名目 G D P を扱うか,実質 G D P を扱うかの注意が必要である。最後に,G D P デフレーターを求める。G D P デフレーターは物価を表しているので,基準年を100として,(c) 当該年の G D P デフレーターの求め方は自ずと決まる。これらの指標を求めるにあたり,ただ求め方を覚えるのではなく,(d) 実質 G D P が,名目 G D P から物価の影響を除いて算出される理由を考えることが大切である。

このように、名目値と実質値の違いを考えることは経済統計を正しくみることにもつながる。

THE CONTRACT ON THE							
	20X1年	(基準年)	20X2年(当該年)				
	価格	生産量	価格	生産量			
農業製品	100	10	110	11			
工業製品	200	5	220	5			
名目GDP	$100 \times 10 + 20$	$00 \times 5 = 2,000$	$110 \times 11 + 220 \times 5 = 2,310$				
実質GDP	$100 \times 10 + 20$	$00 \times 5 = 2,000$					
経済成長率	5%						
GDPデフレーター	10	00	110				

名目GDPと実質GDPの関係図

## 問1. 下線部(a)および図中の に当てはまる値として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 2.100 イ. 2.200 ウ. 2.310

#### 問2. 下線部(b)の内容として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 生産年齢人口のうち、労働力として経済活動に参加している者の割合
- イ. 1年間に一国の経済規模がどれだけ変化したかを示す割合
- ウ. 1年間に物価指数がどれだけ変化したかを示す割合

#### 問3. 下線部(c)を表す式として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア.  $\frac{$ 当該年の名目GDP $\times 100$  イ.  $\frac{$ 当該年の実質GDP $\times 100$  ウ.  $\frac{$ 当該年の名目GDP $\times 100$  ウ.  $\frac{$ 3該年の名目GDP $\times 100$ 

#### 問4. 下線部(d)として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 数字を簡略化でき、さまざまな分析を行いやすくすることで利便性が高まるため。
- イ、親しみやすいというイメージを喚起し、指標の注目度が高まるため。
- ウ. データの推移をより正確に分析でき、経済の実態を知ることにつながるため。

実質GDPはゆるやかな上昇トレンドのなかで、谷、拡張期、山、後退期、谷という上下変動を繰り返している。このような動きを景気循環という。

(a) <u>わが国の政府は景気動向指数という指標を公表している</u>。景気動向指数は、景気と強い関係のあるさまざまなデータを総合して作られており、(b) <u>将来の景気動向を示すもの</u>や現在の景気動向を示すもの、過去の景気動向を示すものの三つがある。これらの景気動向指数に基づき、政府は景気基準日付を公表している。現在、第15循環まで発表しているが、近年では山や谷のタイミングがわかりにくくなっている。最も長い循環は第14循環で、86か月にも及んでいる。

ところで、景気動向指数の考え方には2通りある。一つはデフュージョン・インデックスである。これは、パーセントで表示された数値の大小が景気の転換を示している指数である。(c)構成する指標が3か月前の値と比較して、改善している割合が、連続して一定の割合以上であれば、景気は近い将来拡張すると考えられる。ただし、パーセントで表示された数値の大小が、景気拡大や景気悪化の加速の程度を表しているわけではなく、あくまで転換を示しているということに注意が必要である。もう一つはコンポジット・インデックスである。これは景気の質的な変化ばかりではなく、量的な変化もとらえることができる指数である。この他にも景気判断を行ううえで有用な資料として(d)短観がある。

景気循環は、普段生活しているなかでは実感しづらいが、経済をマクロ的にみる方法としてとら えるとわかりやすい。

#### 問1. 下線部(a)の理由として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. GDPの推計には多くのデータが必要であり、そのなかに景気動向指数も含まれGDPと同時に公表した方が情報提供に便利なため。
- イ. GDPの推計には多くのデータが必要であり、確定値が発表されるまでには遅れが生じるが、 景気動向指数は毎月作成され公表も迅速で情報提供に便利なため。
- ウ. GDPの推計には経済団体からのデータ提供の許可が必要であり、確定値が発表されるまで に遅れが生じるが、景気動向指数は2か月に1度作成され公表も迅速で情報提供に便利なため。
- 問2. 下線部(b)を何というか, 漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。
- 問3. 下線部(c)に記されている一定の割合とは何%か, 次のなかから正しいものを一つ選びなさい。 ア. 10% イ. 30% ウ. 50%
- 問4. 下線部(d)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。
  - ア. 総務省が就業, 不就業の状況を把握するため, 全国約4万世帯を対象に調査してまとめたもの
  - イ. 経済産業省が約500品目の鉱工業製品について、1か月間の生産量を指数化してまとめたもの
  - ウ. 日本銀行が全国の主要な企業約9,400社に対して、景気動向を調査してまとめたもの

2015年に起きたギリシャの債務不履行の問題は、世界経済に大きな影響を与えた。わが国の国と地方の長期債務残高はというと、2015年度末時点で1,000兆円を超える見通しである。ここでは、財政についてみていくことにする。

図1,図2は2015年度一般会計予算(歳入・歳出)の内訳である。(a)図1,図2より,わが国の財政が全体としてどのような状況であるのかを読み取ることができる。なぜ現在のような状況になっているのか、歳出の内訳について確認していく。

図2をみると、歳出規模で1番大きい項目が社会保障関係費であることがわかる。このなかでもとくに病気、老齢、障がい、失業などの困難に直面した人を支援する社会保険の歳出は、70%以上を占めている。(b)社会保障関係費の歳出における構成比が大きくなっている理由を考えることは、わが国の将来のために重要である。歳出規模で2番目に大きい項目が国債費である。(c)国債費の内証がどのように構成されているかを考えることは、財政をみるうえで重要である。また、(d)国の予算は一般会計だけではなく、ある事業に対し独立して処理される会計もある。この会計に対してどのように推移しているのかをみていくことが必要である。

財政運営の内訳をみることは、わが国の現状をとらえるうえで役に立つ。また、将来に向けて何をしていくべきなのかを考える材料になる。

図 1 2015年度一般会計歳入予算の内訳

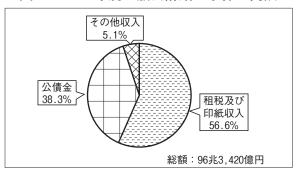
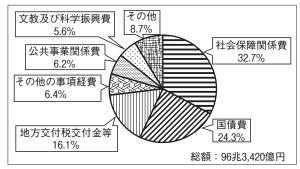


図 2 2015年度一般会計歳出予算の内訳



(出所:『財務省webページ』より作成)

#### 問1. 下線部(a)の状況の説明として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 歳出以上に税収が大きく、余剰の資金を公共事業関係費に充てている。
- イ. 税収と歳出が均衡しており、健全な財政運営がなされている。
- ウ. 歳出を税収でまかなうことができず、超過した部分を公債発行に頼っている。

#### 問2. 下線部(b)は何か、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 子育て世帯の増加にともない、子育て支援のための補助金が増えてきたため。
- イ. 少子高齢社会の到来により、高齢者関係の医療費や介護費、年金などが増えてきたため。
- ウ. 景気悪化にともない、失業による雇用保険の給付が増えてきたため。

#### 問3. 下線部(c)の例として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 利払費 イ. 義務教育費国庫負担金 ウ. 普通交付税
- 問4. 下線部(d)に記されている会計を何というか、漢字4文字で正しい用語を記入しなさい。

2014年4月に消費税が5%から8%に引き上げられた。政府は経済状況を見極めながら今後、2017年4月に10%へと引き上げていく予定である。ここでは国民にとって関心の高い税のしくみについてみていくことにする。

(a) 税は、政府が公的サービスを提供するための費用をまかなうだけでなく、さまざまな機能や効果をもっている。この機能や効果を考慮しながら導入が決定される。また、税には直接税と間接税がある。どちらが望ましいというわけではなく、現状に応じてバランスをとることが大切な点である。(b) 戦後わが国は直接税の割合を大きくし、概ねその状態で現在まで推移してきた。代表的な直接税である所得税に関して、一般的に政府が所得を把握できるのは給与所得者であるため、全てを把握するのは難しい。また、税負担の観点でとらえた場合、負担者は主に現役の労働者であり、引退後の高齢者の負担割合は必ずしも大きくない。ただし、直接税だけではなく(c) 間接税についての問題点も考えられる。直接税と間接税のどちらにも特徴があり、どのような割合がより適切であるかの議論は今後も必要である。

税に関する議論は、われわれの生活に関係してくるが、何よりも国の方向性を決定づけることに なるため、世代を問わず考えていかなければならない問題である。

#### 問1. 下線部(a)の例として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 所得税のような累進税は、過度の労働時間を減少させる機能をもち、相続税は、人々の消費 行動を抑制する効果をもっている。
- イ. 所得税のような累進税は、所得格差を小さくする機能をもち、たばこ税は、人々の消費行動 を抑制する効果をもっている。
- ウ. 所得税のような累進税は、所得格差を小さくする機能をもち、相続税は、人々の消費行動を 抑制する効果をもっている。

#### 問2. 下線部(b)の理由として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. わが国は、ニューディール政策にみられるように、所得再分配に意欲的なアメリカの姿勢に 影響を受けたため。
- イ. わが国は、戦中の同盟国であるドイツからさまざまな制度を導入してきたが、戦後も税制度 は残ったため。
- ウ. わが国は、戦後、税制度を自ら構築するにあたり、イギリスの経済的繁栄に興味をもち影響 を受けたため。

#### 問3. 下線部(c)の例として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 消費税に代表されるように、購入した商品やサービスに対して一律の税率がかかるため、極度の消費の低迷によりインフレーションが起きる恐れがある。
- イ. 消費税に代表されるように、購入した商品やサービスに対して一律の税率がかかるため、駆け込み需要によってデフレーションが起きる恐れがある。
- ウ. 消費税に代表されるように、購入した商品やサービスに対して一律の税率がかかるため、所 得の少ない人ほど生活が苦しくなる可能性がある。

日本銀行の黒田東彦総裁は、2%の物価上昇率をめざし、政策運営を行っている。これまで安倍 内閣は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を3本の矢として活動 を推進してきた。このうちの金融政策がどのように進むか市場関係者から注目されている。ここで は、日本銀行はどのようにして市場に流通する資金量を調節するのかを考える。

日本銀行は、マネタリーベースを操作してマネーストックを変化させている。マネーストックは、かつてはM2+CD(譲渡性預金)が重視されていたが、現在は(a)ゆうちょ銀行や農業協同組合などの預金も対象に加えられたM3が重視されている。金融政策は主に、コールレートに目標値を設定し、それが実現するように(b)公開市場操作を行うことで実施されている。その他にも市中銀行が日本銀行に預けている預金残高の一定割合である法定準備率操作があるが、景気安定化の手段としては使われていない。

これまで日本銀行は経済状況に応じてさまざまな政策をとってきたが、現在は(c)<u>黒田東彦総裁の下、日銀当座預金を増加させる量的・質的金融緩和政策をとっている</u>。これは、市中銀行にとって日銀当座預金残高に比例して融資を行うことができることと関係している。

金融政策の有効性に対する評価は経済学者によって分かれるが、われわれの生活に関係してくる ことであるので、関心をもつ必要がある。

#### 問1. 下線部(a)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 現金通貨 + 普通預金 + 当座預金
- イ. 現金通貨 + 国内銀行に預けられた預金
- ウ. 現金通貨 + 全預金取扱機関に預けられた預金

#### 問2. 下線部(b)の内容として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 日本銀行が市中銀行との間で、金融資産を売買することで資金量を調節する。
- イ. 日本銀行が市中銀行との間で、土地や建物などを売買することで資金量を調節する。
- ウ. 日本銀行が市中銀行との間で、商標権や営業権などを売買することで資金量を調節する。

#### 問3. 下線部(c)の理由として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 1999年以降,日本銀行はコールレートの目標値を事実上の0%とするゼロ金利政策を断続的 に行ってきたが、これ以上低下させる余地がなくなってきたため。
- イ. 1999年以降,日本銀行は一貫して量的緩和政策を主にとってきたが,デフレーションを克服するほどの結果を得られなかったので、より資金量を増加させようとしてきたため。
- ウ. 1999年以降,日本銀行はコールレートの目標値を2%に設定する金融政策を断続的に行い, 想定以上に金利が低下したのにもかかわらず,デフレーションを克服できなかったため。

### 第30回商業経済検定試験

## ビジネス経済A解答用紙

				問1			問	2 問	3				得点
1							1.4						
2	問1	問2	1		問3		問4						
3	問1	問2	問3	問 4									
4			問	1	の法則	問2	問3	問4					
5	問1	問2		問3	市場								
6			問	1		問2	問3	問 4	7	問 1	問 2	問3	
8	問1	問 2			問3		問 4	9	問1	問 2	問3		
10	問1	問2	問3	問 4	問1	ļ	<b>当</b> 2	数	3	月4			
12	問1	問2	問3		問 4		問1	問2	問	3			
14	問1	問 2	問3										
受験場校					受験番号							総得点	

### 第30回商業経済検定試験

## ビジネス経済A模範解答 (各2点)



() 内は別解である

問1 問2 問3 ① 資源配分メカニズムイア	得 点
	6
当 資 源 配 分 メ カ ニ ズ ム イ ア   問1 問2 問3	
P ウ デ リ バ テ ィ ブ イ	8
問1 問2 問3 問4	8
問1 問2 問3 問4	
個別	8
問1 問2 問3	
5 ア ウ 売 り 手 市場	6
問1 問2 問3 問4 問1 問2 問3	
6 プライスメイカー ア ウ ウ ウ イ イ   (プライスメーカー) ア ウ ウ ウ イ イ	
問1 問2 問3 問4 問1 問2 問3	
8 イ ア 固 定 資 本 減 耗 イ 9 イ ア ア	14
問1 問2 問3 問4 問1 問2 問3 問4	16
	16
問1 問2 問3 問4 問1 問2 問3	
D   T   P   P   D   C   T   D   D   D   D   D   D   D   D   D	14
問1 問2 問3	

14 ウ

ア

ア

総得点	100
-----	-----

6